

## 第9回日展

### 第4科（工芸美術） 審査所感

審査主任 春山文典

第9回展の応募数は前回より、立体作品は8点の増加、平面作品は9点の減少となり不思議な現象となった。しかし出品者の作品制作への努力の積重ねが表現にも表われ、内容も充実した作品群となっていた。平面作品は素材や技法別に見て、やや片寄りが見られ、今後に一抔の不安も感じられたが、充実した作品もあり期待したい。

審査は立体、平面それぞれ等しく厳正に一、二、三審と進めて行き、結果入選数は前回と比して立体作品は9点増、平面作品は2点増であり、最も優秀な作品である特選は立体作品7点、平面作品は3点選出された。

陳列会場で、応募部門の若々しいエネルギーが発散された作品と、会員作品の重厚さがぶつかり合い、今日の工芸美術の魅力を感じていただければと思います。

搬入数 611点

入選数 454点

(内新入選) 22点